

⑩ラディッシュを育てよう



種播き後，防虫ネットを

ラディッシュは二十日ダイコンともいわれ，その名のとおり，成長が早く，プランターでお手軽に楽しめます。ダイコンの仲間，赤色が主ですが，白や紅白のものもあり，形も丸から楕円形や細長いものなどあります。また，赤・白・紫・ピンクと色の混ざった種も販売されているようです。サラダをはじめ，一夜漬けなどでも利用できます。プランターで初めて野菜を育てる人におすすめです。

①プランター

深さが20㎝程度あればいいので，一般的なサイズ(約60㎝×20㎝×18㎝程度)のプランターや置き場所に合わせた大きさのもので大丈夫です。

②培養土

排水が良く，有機物を多く含む土が良く，自分で配合する場合の例として，赤玉土7割，腐葉土2割，バーミキュライト1割を混合して使います。また，市販の野菜用培養土を利用するのが手軽です。根をスムーズに伸ばすために，小石などが混ざらないようにしましょう。

③肥料

培養土10ℓに対し，堆肥200g，化成肥料10g，あと酸性土壌を嫌いますので苦土石灰10gを土とよく混合して使います。

④種播き

種播きは，培養土の表面を平らにならし，種子の播き溝を，板切れなどで，1㎝程度の深さで作ります。条間を10㎝程度空け，溝を作り，播き溝に1㎝間隔で播き，覆土をします(スジ播き)。また，株間2～5㎝間隔で深さ1㎝程度の穴をあけ，2，3粒ずつまく，点播きでもいいです。

⑤間引き

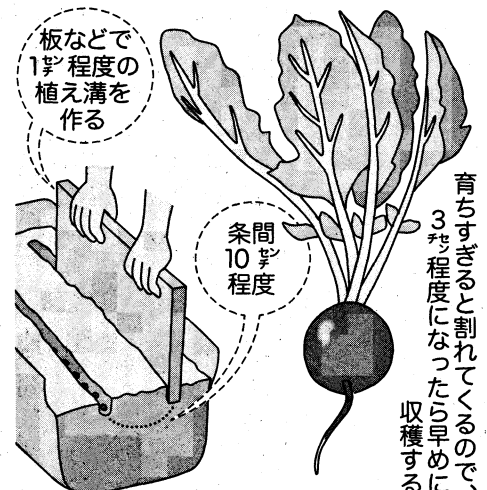
スジ播きの場合本葉が2，3枚の頃に株間が3㎝くらいになるように，点播きの場合，本葉1枚目の頃に間引きをします。

⑥病害虫防除，保温

アブラムシやコナガなどの害を受けやすいので，発生初期に捕殺しましょう。播種後すぐに1ミ目以下の目合いの防虫ネットなどで，プランター全体を覆うようにするとよいでしょう。合わせて気温が低い時期なので，透明なビニールをネットの上からかけ，保温すると良いでしょう。

⑦収穫

根の直径が3㎝程度になったら順次収穫ができます。育ちすぎると割れてきますので，収穫できる大きさになったら早めに収穫しましょう。



(鹿児島市都市農業センター)

平成30年1月11日(木) / 南日本新聞